

2022年度保育所及び認定こども園における自己評価

本年度の本園の保育・教育全般を総合的に評価し、次年度の保育・教育に活かせる方向で記入して下さい。

・ A B C D の4段階評価です。

A : たいへんよい
B : よい
C : 一部検討を要する
D : 改善を要する

保育所・こども園名【 新津認定こども園 】

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
1. 園の保育理念・保育方針・保育目標の理解について		
① 会の保育理念を十分に理解し、日々の保育実践に活かしている	/	B
② 園の保育方針、保育目標を理解し、保育を実践している	/	B
評価の根拠 園内で共有しているもののアルバイト職員と正職員とで認識に隔たりが感じられることがある		
2. 保育について		
① 一人ひとりの子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	B	A
② 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定している	A	A
③ 評価、資料（諸記録）を集積している	A	A
④ 日々の保育実践について振り返りを行い、計画に生かし、子どもの育ちに反映させている	A	B
⑤ 園内の清掃がなされ、清潔に保たれ、子どもが心地よく過ごせるよう配慮している	A	A
⑥ 気候や子どもの活動にあわせ、温度・湿度・換気、照度など配慮している	A	A
⑦ 季節の草花などを飾るなど、保育の中で子どもが季節感を感じるように配慮を行っている	A	A
⑧ 子どもの意欲を高めるような遊びの準備や配慮ができています	B	A
⑨ それぞれの子どもに関する必要な情報を共有している	A	A
⑩ 保育についての話し合いをよくしている	B	B
⑪ 保育士自身が楽しんで保育をしている	B	B
⑫ それぞれの役割を把握し、適切な動きができています	B	B
評価の根拠 要員が不足しており、保育全般に余裕がなくミーティングが不足している。そのため、情報の共有に時間を費やす場合がある		
3. 健康管理について		
① 日々の園児の健康状態を観察し、一人一人の体調に合わせた保育を心がけている	A	A
② 玩具、遊具等については、常に衛生的に保持している	A	A
③ 乳幼児突然死症候群（SIDS）や感染症等の予防の対策やマニュアルが用意されている	A	A
評価の根拠 日々の検温等による健康観察を実施。また、感染予防マニュアルや対策は園内で共有し、玩具は常に衛生に保たれている		
4. 行事について		
① 行事の種類や実施回数は適切である	A	A
② 行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	A	A
評価の根拠 昨年秋頃から地域のイベント等が開催され、感染対策を図りながらできる限り参加している		
5. 食育について		
① 食育を通して子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している	A	A
② 旬のものや季節感のある食材を用意し、食文化を伝える工夫をしている	A	A
③ 調理担当者と子どものコミュニケーションが図られるようにしている	A	A
評価の根拠 保育士と栄養士が情報共有を図り、園児へ野菜の栽培や収穫を通して、食育についての取組みを行っている		
6. 運営について		
① 園長や主任・職員の役割分担と責任が明確にされ、園児や保護者への迅速な対応ができる体制がある。	A	A
② 各種会議を適切かつ効率的に進めている	B	B
③ 打合せ回数、時間、内容は適切である	B	B
評価の根拠 各種会議は正職員と非正規職員とに隔たり出ないように出席者に配慮しているが、出席者から活発な意見が見られない		

自己評価の観点	前年度の 評価	本年度 の評価
7. 保健・安全指導について		
① 年齢別・クラス経営に活かされるような具体的保健対策を講じている	A	A
② 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施している	A	A
③ 事故や災害に適応できるマニュアルをすぐに見ることができるようにしている	A	A
④ 廊下に落ちていたものを拾ったり、トイレのスリッパを揃えたり意識している	A	A
⑤ 室内の衛生、クラス廻りの清掃に心がけ気持ち良い環境に心がけている	A	A
評価の根拠 事故検討会議を開催し、小さな事故の目を摘み取る検討を行うことで重大事故への防止を図っている		
8. 研修について		
① 部内・部外研修への参加態勢の充実を図っている	A	A
② 研修報告を園内で実施している	A	A
評価の根拠 研修計画を作成し研修受講者を選任し、有効的に研修に参加している。また、毎月研修報告会を実施している		
9. 情報について		
① 園児の個人記録は個人情報保護法に基づいて管理・保管している	A	A
② 園内で知り得た事柄について守秘義務を徹底している	A	A
③ 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理している	A	A
評価の根拠 個人情報の管理・保管及び処理は適切に行っている。各種情報の守秘義務も徹底している		
10. 設備について		
① 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っている	A	A
② 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用している	A	A
評価の根拠 設備の点検は計画的に実施している。掲示は適切かつ効果的に活用している		
11. 保護者支援について		
① 子どもの送迎時に子どもの様子を伝えあうようにしている	A	A
② クラス懇談や個別懇談を行っている	B	B
③ 入園説明会やクラスごとの懇談会などでは保育内容や目的をわかりやすく説明し、情報提供を行っている	B	B
④ 保育参観等の機会を設け、保護者に保育を理解してもらう工夫をしている	C	B
評価の根拠 感染防止対策を図りながら個人懇談・保育参観等を実施し、子供の必要な情報を共有することができた。しかし、クラス懇談会は感染リスクを伴うため実施することができなかった		
12. 開かれた保育所づくりについて		
① 園庭や保育室等を、地域の子育て親子等に解放している	B	B
② 職員による育児に係る「子育て相談」は充実している	B	B
③ 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供している	A	A
④ 中高生の職場体験や実習生の受入を体制について、その意義や方針を全職員が理解している	A	A
⑤ 来客や地域の方に明るく挨拶をしている	A	A
評価の根拠 配慮を必要としている児童は専門機関と連携し、保護者とともに情報の共有化を図りながら適切な対応を行っている。例年、月に1～2回「なかよし広場」を開催しているが、コロナ禍で中止する月や、参加人数が数名の月もあった。		
13. 情報発信について		
① えんだより、すこやかねっと等で、情報発信に努めている	A	A
② 行事や子育て支援等を、地域や小学校等に対して周知している	B	B
評価の根拠 コドモンで各クラスの園だよりを配信し情報の提供を行っている。地域主催のイベント等に参加しているものの地域や小学校等への周知が足りない		
14. 人権擁護について		
① 園児一人ひとりの人格を尊重し、適切な言葉がけや関わりをしている		B
② 園児の家庭環境や国籍、性別等の多様性を認識し、差別のない関わりをしている		A
評価の根拠 人権擁護チェックリストを活用し園内研修を実施するとともに人権に配慮する取組みを行っている		
15. 総括		
<p>・年間をとおしての振り返りと、子どもの育ちをより豊かなものにするための保育の実現に向けて、今後力を入れて取り組みたい事柄や課題等をお書きください。</p> <p>◎新型コロナの発症及び感染防止対策により園内活動や行事等に制限が多くあったものの、コロナの感染防止を図りつつ園児の安全の確保しながら適切に保育に取り組むことができた。</p> <p>◎園児一人ひとりに適切かつ安全を保育を提供するため、保育士が心に余裕を持つための職場環境及び業務の改善の検討</p> <p>・自己評価をとおして、前年度よりも改善・充実した点</p> <p>◎保育士一人ひとりが子供理解に努めながら保育環境の向上につなげた</p> <p>◎、昨年度はコロナウィルス感染防止に伴い延期・中止せざるを得なかった保護者参観について、感染対策を万全に整え、ほぼ毎月開催することができた。来年度については保育を理解するための新しい機会を模索していく</p> <p>・課題だと考えられる点や次年度の計画に反映させたい点</p> <p>◎全職員に共通する情報・課題については、速やかな共有を図るための方法を会議のあり方を含め検討を行う。</p>		